

Aluminum sift knob

共通取り扱い説明書

FIT IN ▶ ABARTH500/595/695/500C/ABARTH 124 Spider

- THAB3031 fit A
- THAB3032 fit B
- THAB5006 124Spider

付属品

- アルミシフトノブ本体 1個
- シフトパターンシール 1枚
- ワッシャー 1枚
- スプリングワッシャー 1枚
- 本書 1部

この度はTHREEHUNDRED商品をお買い上げいただきありがとうございます。製品を安全にお使いいただくため、本書に記載されている取り付け方法をご一読いただき、確実に製品を車両にお取り付けください。作業前に製品に外観上の不具合がない事と、付属品の確認を行った上で作業を開始してください。

1

車両を安全な場所に停車させて、作業を行います。

P1-P2の画像をご確認頂き、取り付け車両のシフトシャフト形状を必ず確認して、製品が正しく適合している事を必ず確認してから作業を行って下さい。

クルマ側は2タイプ形状が存在しています。
124Spiderはfit Bと同形状になります。



2

純正のシフトノブを外します。
fit-Bは接着されているので非常に硬いです。

シフトノブだけ回すとシフトシャフトが曲がる事がありますので、必ずシフトシャフトを工具で掴んでから回して、取り外しを行って下さい。

THREE
HUNDRED

Dukes & Co.

1-13-9 uehara shibuya -ku Tokyo Japan
mail to contact@threehundred.jp
Call 03-5738-7573

<https://www.threehundred.jp>



3

P-3のように、ワッシャー、スプリングワッシャーの順で、シフトシャフトに入れてから、アルミシフトノブを取り付けます。

スプリングワッシャーは、ロゴマークの位置出し用に付属させていますので、位置を調整しながら締めこみをして下さい。

124Spiderは最初に六角ナット2ケを入れ、高さを決めます。

4

最後にアルミシフトノブが確実に締まっている事を確認して作業は完了です。

付属のシフトパターンシールを必ず室内の視認しやすい所に貼って下さい。
シールを貼らないと車検に適合しません。

ワンポイントアドバイス

シフトシャフトには接着材のノリが残っている場合があります。

ノリが残っていると、シフトノブが奥まで締め切り切らない場合がありますので、バイス等で一度ネジを切り直してから取り付けられると確実です。